

各協同組合からのお知らせ
 MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生活協同組合からのお知らせ

植林体験会 参加者募集



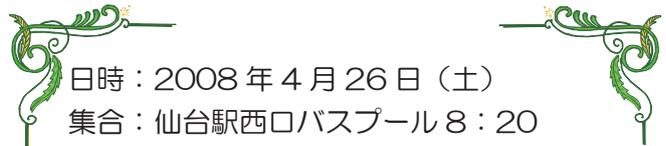
©MIC

みやぎ生協に新しい「こ〜びの
 森貞任山^{さだとうやま}」が誕生します。貞任山
 は、みやぎ生協の産直志津川湾産
 生かきのふるさと志津川湾を望
 む高台にあります。

植林体験会では山と緑、海との深いつながりを
 実感しながら、里山に緑を増や
 す作業を体験します。産直志津
 川湾産生かきの生産現場の見学
 も予定しています。



©MIC



日時：2008 年 4 月 26 日（土）
 集合：仙台駅西口バスプール 8：20
 17：00 解散予定、現地集合もあり
 参加費：2,000 円（中学生以下半額）
 開催場所：南三陸町志津川
 募集人数：50 人（先着順）
 締め切り：4 月 11 日（金）

申し込み方法：住所・氏名・電話番号を明
 記の上、下記までハガキ・FAX・メール
 にてお申込ください。

〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2
 みやぎ生協生活文化部 環境活動事務局
 TEL022-218-3880 FAX022-218-3663
 メール：kankyok@snet.coop.or.jp



MELON20 周年をめざせ！

50 人リレートーク



第 20 回目の執筆者
 渡邊一生さん
 （東日本放送
 番組プロデューサー）

500 円前後のコンビニの『幕の内弁当』が大
 量の温暖化ガスを排出している。

と言ったら、皆さんはどんな反応をなさいま
 すか？

そんな馬鹿な！と仰るかも知れません。

その食材は私たちの口に入るまで、その移動
 距離、何と 16 万キロ。地球 6 周分もの旅をし
 て来ているのです。鮭、鶏肉、レタス、インゲン・・・
 数え上げたら限りがありません。どれも冷凍・
 冷蔵され船や飛行機で輸入されているのです。

その CO₂ の排出量はどれだけのものなのか。

しかも、日本で捨てられている食料は年間で
 2000 万トン以上。

焼却場でまた大量の CO₂ を排出するのです。

ドイツの世界飢餓援助機構によると、世界の
 飢餓人口は 8 億 5000 万人。

そして、世界の食料援助は年に 700 万トンか
 ら 1000 万トンに過ぎないのです。

この現実、どうにかならないのでしょうか？

因みに、日本の食料自給率は現在およそ
 40%。日本の食料基地を自負する宮城県でさえ、
 その自給率はカロリーベースで僅か 78%（17
 年度概算値）。秋田県の半分以下なのです。

ここでまた CO₂ を排出して、食料を運んで来
 なければなりません。

世界がこのまま地球温暖化の対策を立てなけれ
 ば、今世紀末には地球の気温が平均 6 度、海面
 が 59 センチも上昇するという予測も出ていて、
 低地はほとんど海に沈んでしまいます。

豊かさの陰にある私達のエゴに後ろめたさを感じ
 ながら、今日も私はコンビニ弁当に箸を付けて
 しまうのです。

* 次回執筆者紹介 *

アン・マクドナルドさん（県立宮城大学講師）
 エッセイスト。カナダの高校・大学時代に日本
 へ留学経験を持ち、卒業後日本での農村暮らしを
 経て、日本国内及び海外の農山漁村を体験取材し
 て歩く。

